

9月24日（火）12:00-13:00

第8会場 28番教室

地質学会第126年学術大会（2019 山口）
堆積地質部会ランチョン

本日の予定

1. 部会長ご挨拶：酒井
2. 部会幹事からの報告
 - ・庶務：太田
 - ・各賞選考：狩野，高野
 - ・編集：石原，藤野
 - ・行事：西田
 - ・ML：野田，小松原
3. セッション報告
 - ・R9 堆積岩の起源：太田
 - ・R10 炭酸塩：足立
 - ・R11 堆積過程：松本
 - ・R12 石油石炭：千代延
4. 関連学会・シンポ情報
 - ・連合大会：（清家）
 - ・炭コロ：山田
 - ・堆積学会：石原
 - ・有機地化シンポ：三瓶
 - ・ISC2018：小松原
5. その他
 - ・夜間小集会案内

司会：太田

1. 部会長ご挨拶（酒井）

部会幹事（敬称略）

- ・ 部会長：酒井哲弥（島根大）
- ・ 庶務：北沢俊幸（立正大）， 太田 亨（早稲田大）
- ・ 行事委員：西田尚央（東京学芸大）
＊石油石炭セッション行事委員：島津 崇（石油資源）
- ・ 各賞選考：狩野彰宏（東京大）， 高野 修（石油資源開発）
- ・ 編集委員：石原与四郎（福岡大）， 藤野滋弘（筑波大）
- ・ 幹事ML：野田 篤（産総研）， 小松原純子（産総研）

< 幹事の任期と交代 >

- ・ 任期：2－3年（重任可）
- ・ 交代：後任を自分で探して打診，了解を得て，代表＋幹事会に連絡，地質学会ランチョンで交代.

セッション世話人 (敬称略)

R9 堆積物（岩）の起源・組織・組成：

太田 亨（早稲田大），野田 篤（産総研）

R10 炭酸塩岩の起源と地球環境：

足立奈津子（大阪市大），白石史人（広島大），
山田 努（東北大）

R11 堆積過程・堆積環境・堆積地質：

松本 弾（産総研）・酒井哲弥（島根大），
新井和乃（高知大）

R12 石油・石炭地質学と有機地球化学：

千代延俊（秋田大），島津 崇（石油資源開発），
三瓶良和（島根大）

R9・R11の統合について

<統合の趣旨（理由）>

1. 対象研究領域の重複

両セッションで対象とする研究領域は一部で重複するため、場合によって発表を取り合う形になったり、発表者側でもセッションの選択に迷う場合がある。

2. 堆積系セッションの発言力の強化

統合して講演件数が多いセッションとなれば、大会（学会）での発言力を高める基盤になる。

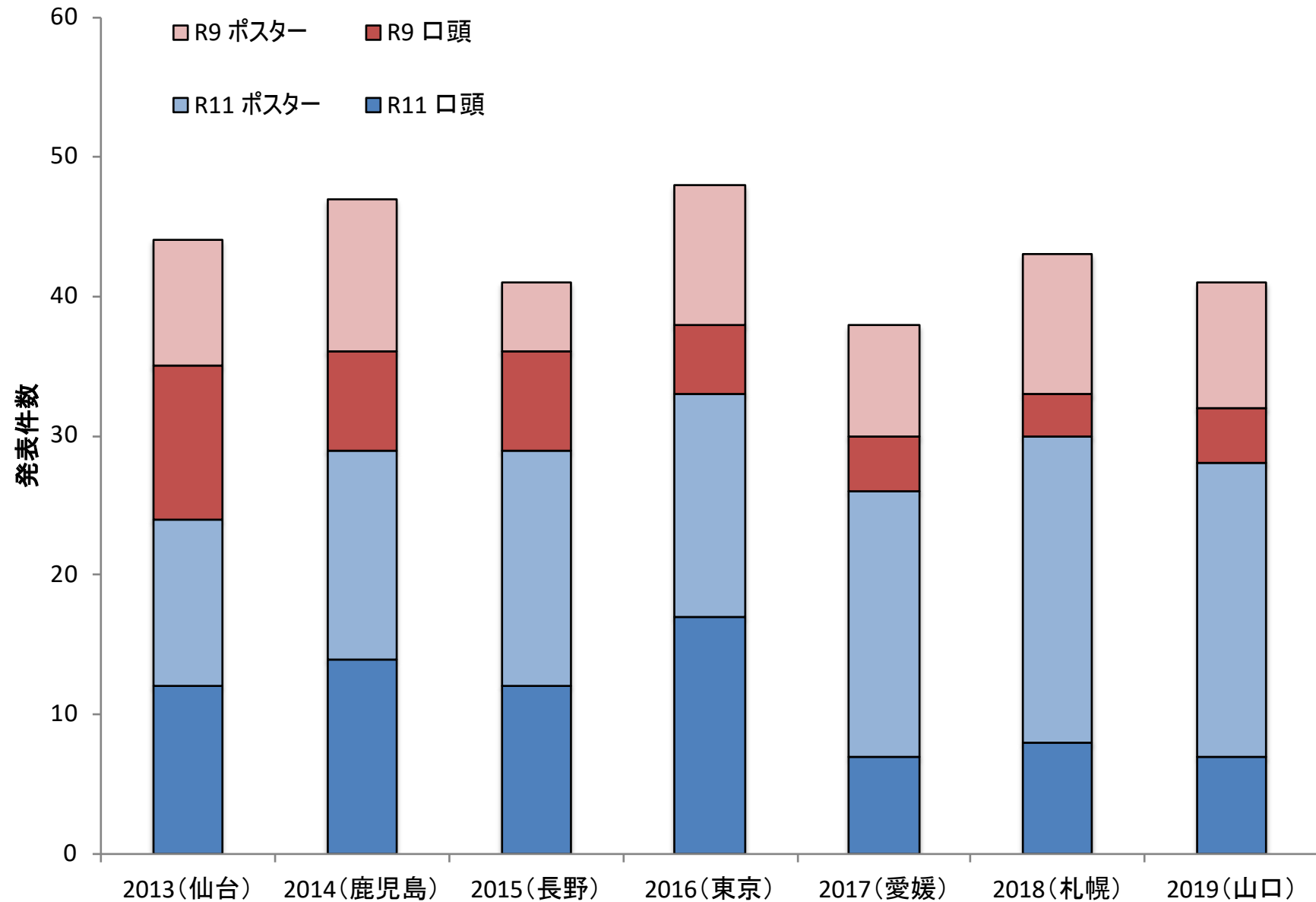
3. 世話人の人数削減

統合により世話人の人数を減らせる。
現状は合計5名だが、発表件数とのバランスからすれば、4名あるいは3名でも大きな問題はない。

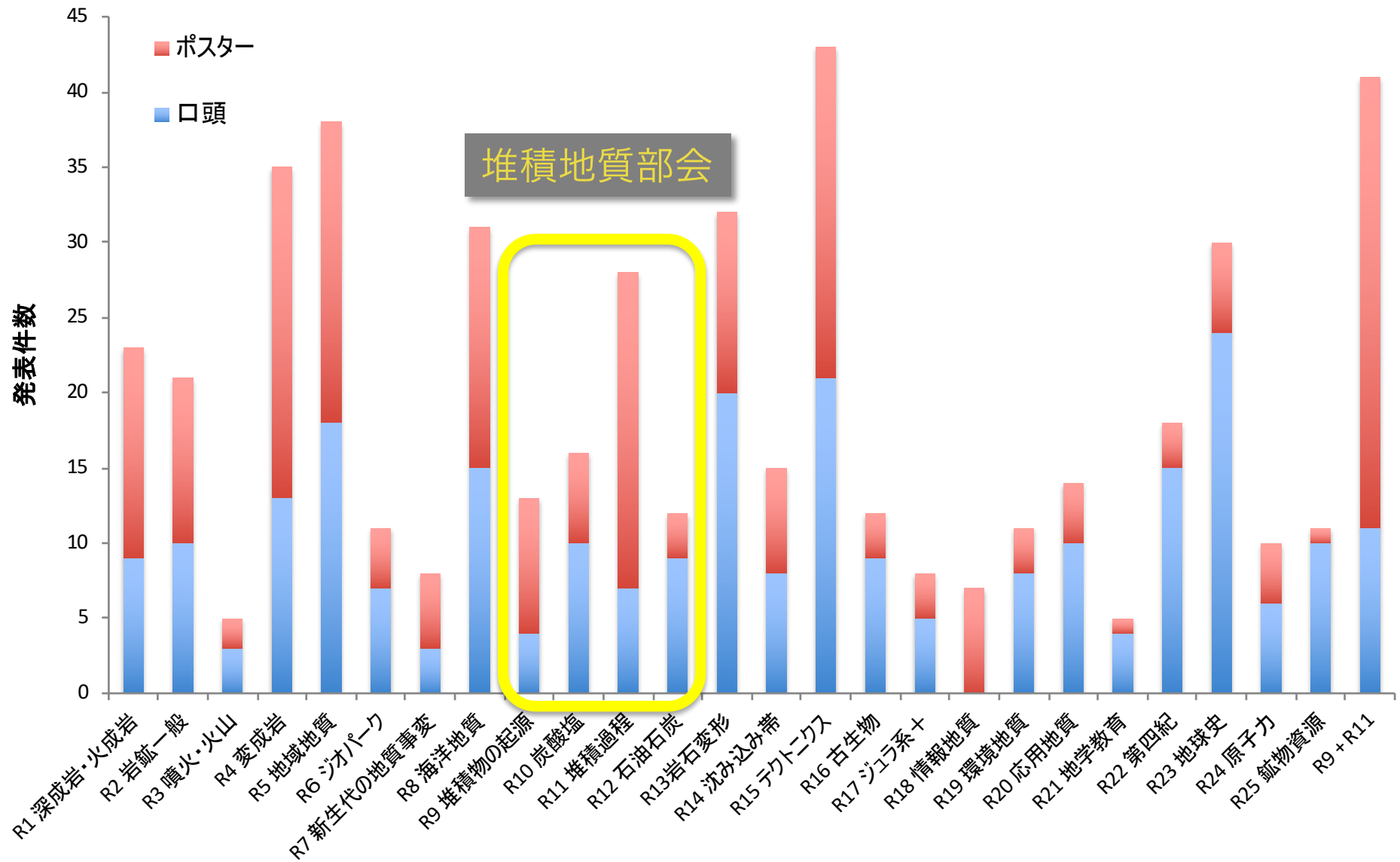
4. 大会のコマ割り作業の効率化

現状、堆積地質部会のセッションは4つあるが、統合して3つにすることで、大会のコマ割り作業（日程調整）をより効率化できる。

R9 と R11 の発表件数の推移



山口大会の発表件数



R9・R11の統合について

＜新セッション案＞

1. セッション名 堆積

2. セッション概要

堆積物や堆積岩に関連した侵食・運搬・堆積・続成作用についての幅広い分野の研究を募集する。フィールド調査や露頭観察、野外での観測、アナログ・数値実験、理論解析、試料の各種分析・測定等を通じて、粒子の形態や組成、運搬・堆積過程における粒子の挙動、ダイナミックな地層形成プロセス、古環境復元、堆積物の供給源、堆積盆の形成、地質体の発達史などの様々な研究について議論する。なお、本セッションは昨年度まで実施されてきた「堆積物（岩）の起源・組織・組成」と「堆積過程・堆積環境・堆積地質」の2つのセッションを統合したものである。

2. 部会幹事からの報告

各賞選考担当（狩野，高野）

- ✿ 研究奨励賞1件、論文賞1件の推薦を行った。
- ✿ このうち論文賞候補は、実際に論文賞受賞となった。

行事（西田→野田さん）

1. 招待講演

- ・ R9 堆積物の起源: 竹内 誠 氏, 原 英俊 氏
- ・ R10 炭酸塩岩: 上野勝美 氏
- ・ R11 堆積過程: 成瀬 元 氏, David Hodgson 氏
- ・ R12 石油石炭: 荒戸裕之 氏

2. ハイライト講演

- ・ R9 堆積物の起源: 1 件
- ・ R10 炭酸塩岩: 3 件
- ・ R11 堆積過程: 1 件
- ・ R12 石油石炭: 1 件

3. 他学協会との共催

- ・ 共催団体の会員は共催セッションに限り発表申込が可能
- ・ 共催団体会員の参加登録費は地質学会正会員と同額

→全てのセッションで「日本堆積学会」「日本有機地球化学会」
「石油技術協会探鉱技術委員会」より共催の承諾

来年度の学術大会

会場：名古屋大学

日程：2020/9/6（日）～9/8（火） or
2020/9/13（日）～9/15（火）

＊再来年度

会場：早稲田大学

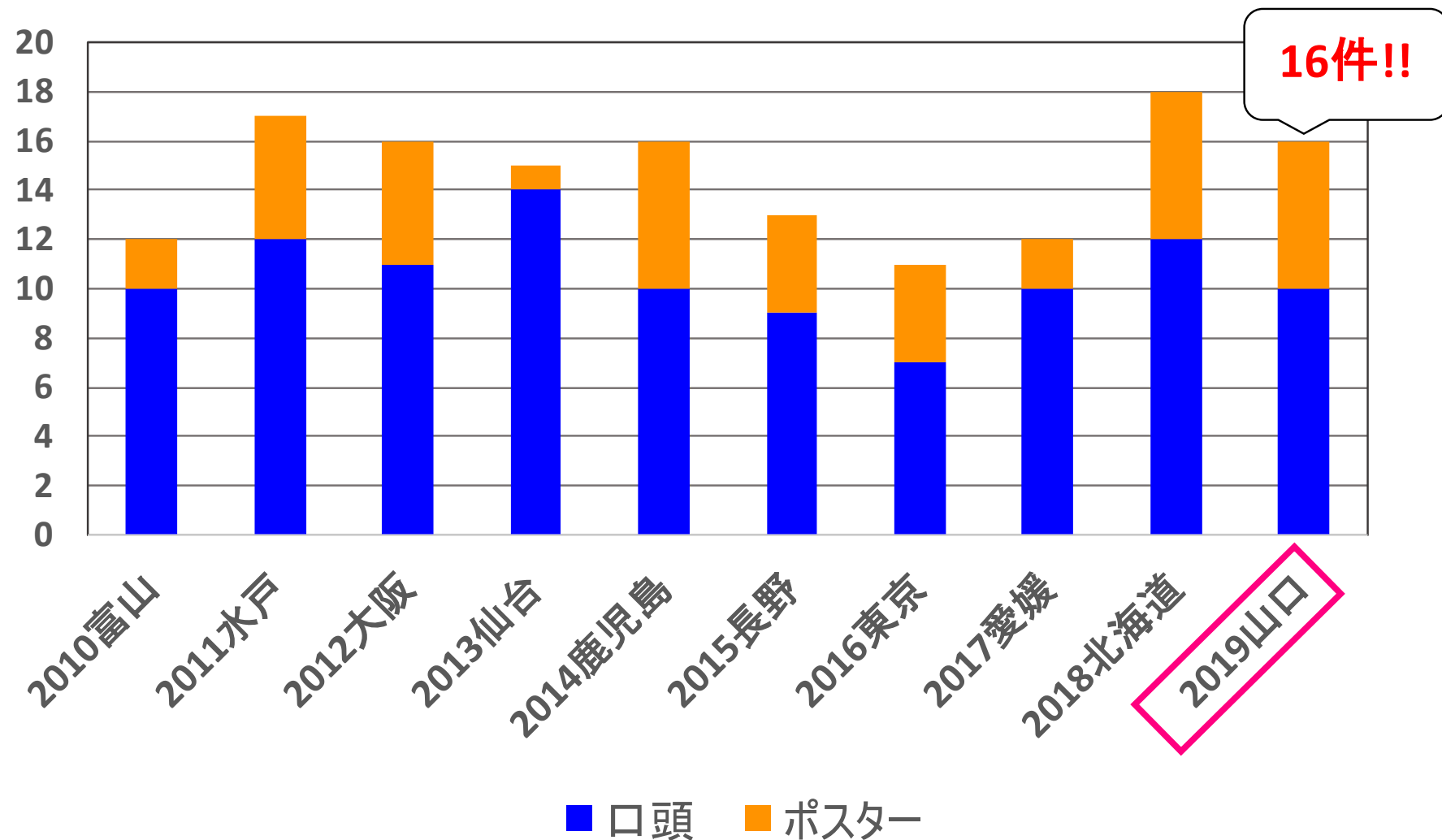
日程：2021/9/6（月）～9/8（水）

3. セッション報告

R9 堆積物（岩）の起源・組織・組成

R10 炭酸塩岩の起源と地球環境

炭酸塩セッション講演数の推移 (2010-2019)



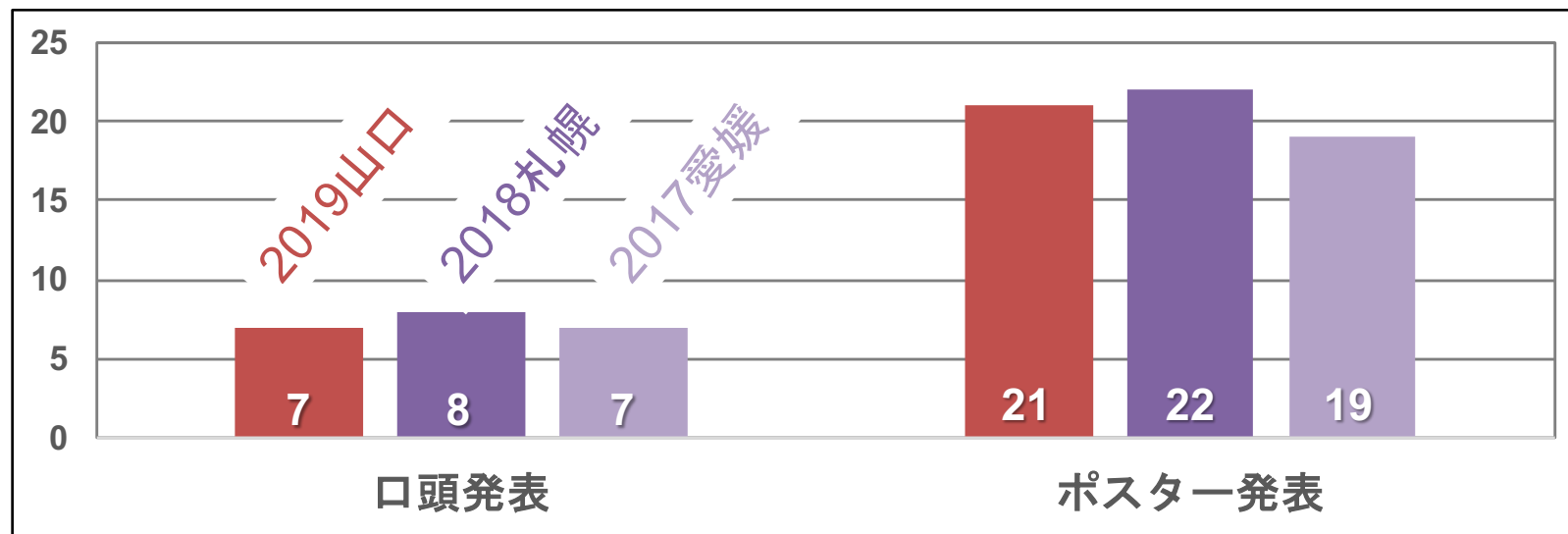
R11

堆積過程・堆積環境・堆積地質

世話人： 松本 弾（産総研）
酒井哲弥（島根大）
新井和乃（高知大）

●発表件数

口頭7件，ポスター21件（過去2年とほぼ同数）



●招待講演

成瀬 元 氏（京都大学理学研究科）

David Hodgson 氏（University of Leeds）

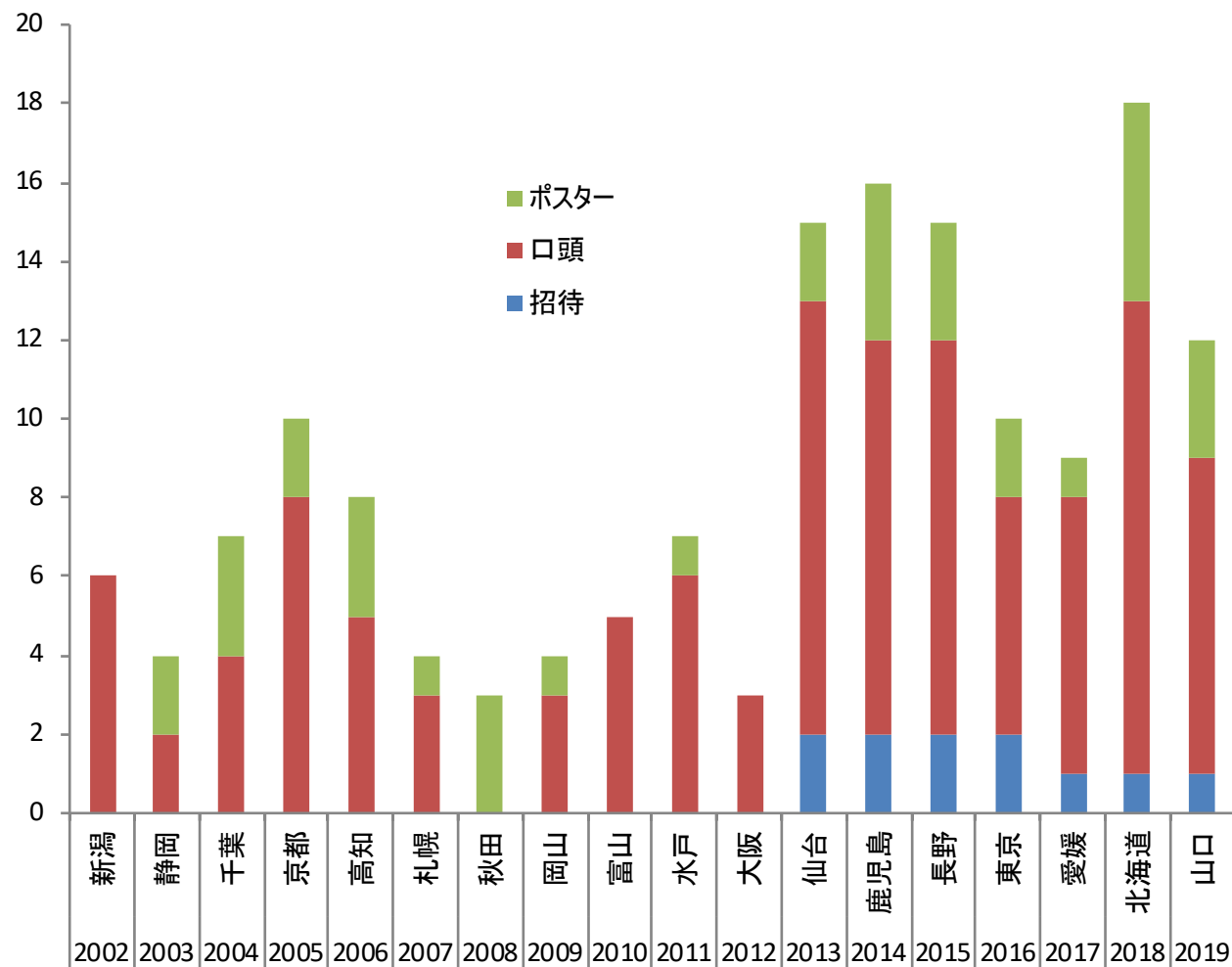
●お知らせ

2019年4月コンビーナーの交代

（浅田 美穂氏 (JAMSTEC) から新井 和乃氏(高知大)へ）

R12 石油・石炭・有機地球化学セッション 講演者数推移(千代延)

口頭発表: 9人
ポスター発表: 3人



4. 関連学会・シンポジウムの 報告, 案内

JpGU 連合大会（清家）

2019年堆積関係セッション

- ・ 堆積・侵食・地形発達プロセスから読み取る地球表層環境変動
- ・ 津波堆積物
- ・ デルタとエスチュアリー：複雑な河口システムへの学際的取り組み
- ・ 混濁流：発生源から堆積物・地形形成まで

2020年の予定

- ・ 日時：5月24日(日)–28日(木)
- ・ 会場：千葉県幕張メッセ・東京ベイ幕張ホール

炭酸塩コロキウム（山田）

☆2019年 炭酸塩コロキウム in Yamanaka Lake （明治大学山中セミナーハウス）

参加者 19名

担当： 蛭田明宏，大井剛史

2月27日

セッション1 13時30分～15時30分

セッション2 16時00分～18時00分

セッション3 19時00分～20時00分

夜間懇親会 20時～22時頃

2月28日

セッション4 09時00分～12時00分

エクスカーション（自由時間） 13時～18時

周辺巡検岩石採取、忍野八海、赤富士の湯、ワカサギ釣り、富士急ハイランド絶叫マシン

セッション5 19時30分～22時30分

3月1日

セッション6 09時00分～12時00分

13時 解散

☆2020年炭酸塩コロキウム

場所：未定（西日本？）

担当：未定

時期：例年通り2-3月を予定

堆積学会関連の今後の行事

フィールドセミナー2019

「浅海堆積物の堆積相と堆積シーケンス」

場所 千葉県立中央博物館, 銚子市ほか

講師 岡崎浩子氏 (千葉県立中央博物館)

12月7日～9日 10月より申し込み開始

堆積学会2020年島根大会 会場 島根大学松江キャンパス

3月28日・29日 口頭発表・ポスター発表・総会

特別講演会(予定)・堆積学トーク・トーク

3月30日 巡検 島根半島の第三系を予定

案内者 酒井哲弥

堆積学関係の学会・シンポジウム情報&報告 (三瓶)



The Japanese Association of Organic Geochemists

日本有機地球化学会

「有機地球化学シンポジウム」

1. 報告

第37回有機地球化学シンポジウム(2019金沢シホ°)

2019年8月28日(水)~29日(木); (於)金沢市石川県政しいのき迎賓館

世話人: 金沢大 長谷川

(2020は, 「つくば産総研」で開催予定)

2. その他

◎本学会の年会費は格安です(正会員: 年額3000円, 学生会員: 年額1000円)。

堆積学・古生物学等の有用な情報も得られますので, 是非, 入会ください。

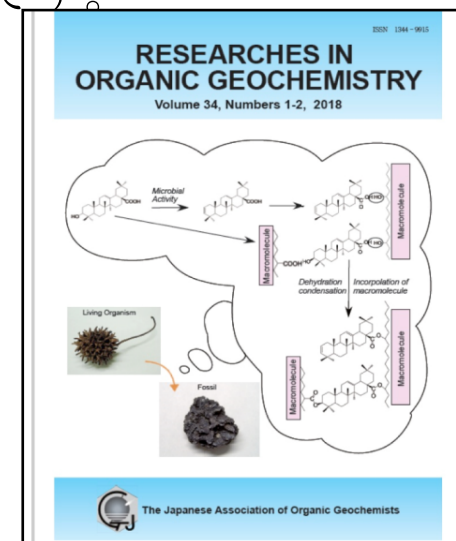
◎学会誌ROG Vol.1号(1976)から34号(2018)までをPDF公開中です。

学会HPをご覧ください。

◎ROG特集号「有機化合物の安定同位体を用いた有機地球化学的研究の発展とその

応用 (Part I, II)」を販売中です(一冊3000円)。

学会HPをご覧ください。





学会名 34th IAS meeting of Sedimentology Roma 2019
場所 イタリア・ローマ サピエンツァ大学 (Sapienza University)
期間 2019年 9月10～13日

2010 Mendoza (Argentina)

2011 Zaragoza (Spain)

2012 Schladming (Austria)

2013 Manchester (UK)

2014 Geneva (Switzerland)

2015 Krakow (Poland)

2016 Marrakesh (Morocco)

2017 Toulouse (France)

2018 Quebec (Canada)

2019 Roma (Italy)

2020 Prague (Czech Republic)

2021 ?

2022 Beijing (China)

9/6～9/9 : プレ巡検6件, ショートコース1件

9/10 : 講演, Keynote lecture, ポスター

9/11 : 講演, Keynote lecture, ポスター

9/12 : 日帰り巡検5件, ワークショップ3件

Conference dinner

9/13 : 講演, Keynote lecture, 総会, ポスター

9/14～9/18 : ポスト巡検4件

The 8th IAS International Summer School of Sedimentology 2020

2014 Beijing and
Chengde City, China
2016 Alghero, Italy
2018 Zapala, Argentina

バハマ諸島・エリユーセラ島
May 23-30, 2020

Estimated cost per student: 400 euros

Important dates

Application deadline – December 15, 2019

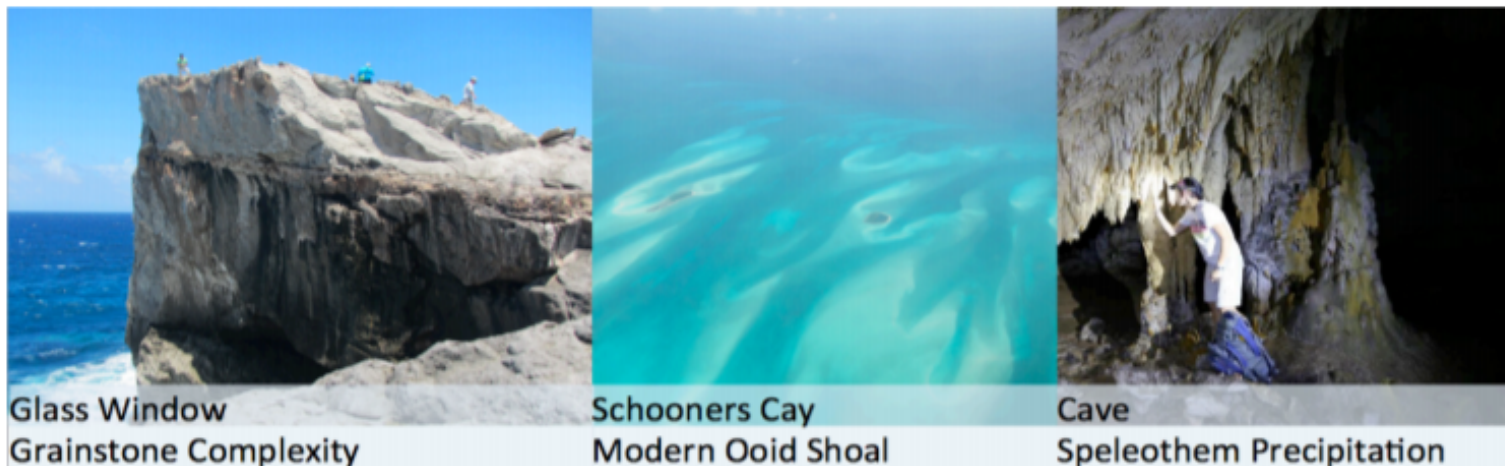
Notification of acceptance – February 1, 2020

Payment deadline – March 1, 2020

IAS travel grants announced – March 15, 2020

Trip Focus

the deposition and early alteration of
carbonate sediments



<https://www.sedimentologists.org/assets/ss2020.pdf>

2020年の関連 国際会議 (保柳)



SEPM | Society for Sedimentary Geology
International Sedimentary Geoscience Congress

26-29 April, 2020

High Country Conference Center
www.highcountryconferencecenter.com
Flagstaff, Arizona, U.S.A.

WWW.SEPM.ORG
[@SEP2020](https://twitter.com/SEP2020)

THE PAST IS THE KEY TO A SUSTAINABLE FUTURE



PRAGUE 2020

**35th IAS Meeting
of Sedimentology**

June 22–25, 2020
Prague, Czech Republic

3rd Western Pacific Sedimentology Meeting (WPSM-3)

Oct. 16-17, 2020, Shanghai

First Circular

Theme: Sedimentation between the Asian and Pacific Plates



5. その他

夜間小集会

産官学の堆積学者の集い：明日の堆積学
を担う若手研究者の育成プログラム

日時：2019年9月24日（火）18:15-19:45

場所：第8会場

プログラム：

1. 経緯説明
2. 産官学連携やコンソーシアムにおける研究テーマ設定や調整時の考え方について
3. 個別コンソーシアム準備状況および内容紹介
4. 双方向セミナー・技術討論会・コンソーシアムなど今後の展開についての自由討論

夜間小集会 「炭酸塩堆積学に関する懇談会」

世話人 山田 努・松田博貴

9月25日（水）第8会場 18時15分から19時45分